

News Release

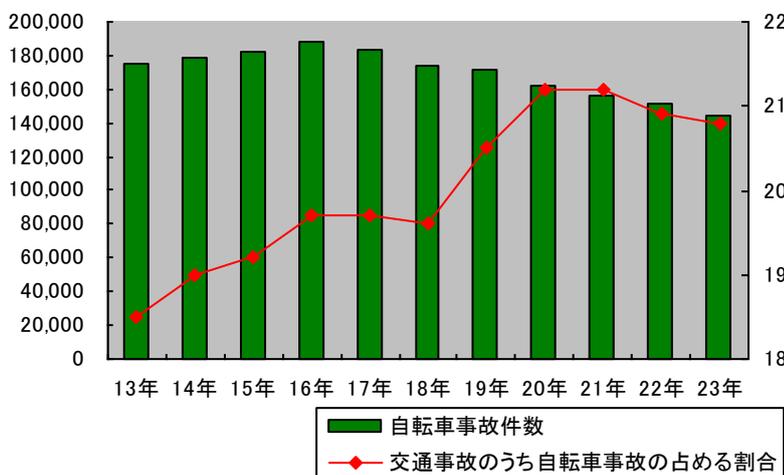
中高生向け「JA共済自転車交通安全教育DVD」第3弾!! ～2月下旬より中学校・高等学校約1万6千校に寄贈開始～

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 横井 義則）では、地域貢献活動の一環として交通安全指導用の教材「中高生向け『JA共済自転車交通安全教育DVD』」第3弾（制作協力：日本教育新聞社、監修：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会）を制作し、平成25年2月下旬より全国約1万6千校の中学・高等学校に順次寄贈します。あわせて、多くの方々にご活用いただけるよう、平成25年2月27日（水）からJA共済地域貢献活動のホームページにおいて同DVD映像の無償ダウンロードを開始します。

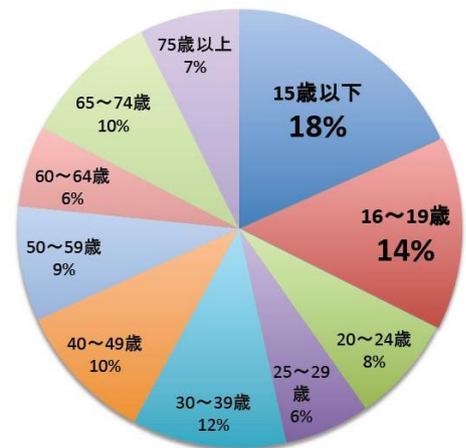
近年、交通事故件数が減少する一方、自転車事故の占める割合は5年連続で2割を超えています（図1）。また、自転車乗用中の死傷者の約3割が19歳以下の若者であり（図2）、自転車の交通事故は社会問題となっています。これは、「自分には関係ない」「自分だけは大丈夫」という当事者意識の欠如と交通ルールの軽視が原因の一端です。

自動車共済・自賠責共済を提供するJA共済は、交通事故未然防止活動や交通事故被害者の社会復帰活動に積極的に取り組んでいます。その活動の一つとして、平成21年度より中高生へ向けた自転車交通安全啓発用の教材を制作し、寄贈してきました。第3弾となる今回は、自転車事故を「自分ごと」と感じられるよう事故映像のリアリティを追求するとともに、事故を防ぐために必要な危険を「予測する力」と「安全に回避する力」を身につけることに重点を置いて制作しています。

【図1】 自転車事故件数の推移
(件数)



【図2】 自転車乗用中の年齢別死傷者数の割合 (%)



〔出典：「平成23年中の交通事故の発生状況」（警察庁）（2012年2月23日）〕

本DVDは、平成25年2月下旬より全国の中学・高校約1万6千校へ寄贈します。指導目的や時間に
応じて必要なチャプターを選択し、授業や学校行事など様々な学校教育の場でご活用いただけます。

また、自転車事故および交通事故の死傷者を減らすためには、学校での交通安全教育のみならず家庭や
地域での取り組みも必要です。より多くの場面でご利用いただけるよう、JA共済地域貢献活動ホームペ
ージからも同DVD映像を無償でダウンロードできるようにします。

◆JA共済 自転車交通安全DVD

<収録内容>

8チャプター、計25分の映像を収録しています。

全チャプターの連続再生のほか、チャプターごとの個別再生も可能です。

<構成>

●チャプター1「事故があなたに与えるダメージ」実験映像(1分30秒)

自転車と車の衝突実験の映像から事故が人体に与える衝撃をリアルに感じ、交通事故の怖さを理解します。

●チャプター2「交通事故はあなたの身近にある」統計データ(1分18秒)

自転車事故の統計データから、交通事故の危険が身近にあることを学びます。

●チャプター3「ふいに襲ってくる事故の恐怖」ドラマ(3分)

高校生が自転車事故の被害者となるドラマを通じて、事故のリスクが身近にあることを理解します。

●チャプター4「危険を予測してみよう！ ～被害事故～ シミュレーション問題」(3分)

スタント映像を交えた問題で、危険を予測して交通事故を防ぐ正しい乗り方を確認します。

●チャプター5「交差点 ～自転車事故の7割が起きる場所～」実写映像(1分30秒)

危険な乗り方や交通ルール違反を客観的に見て、日頃の自分自身の運転マナーを見直します。

●チャプター6「あなたの人生も変える加害事故」ドラマ(5分55秒)

高校生が自転車事故の加害者となるドラマを通じて、加害者が負う責任の重さを理解します。

●チャプター7「危険を予測してみよう！ ～加害事故～」シミュレーション問題(2分47秒)

運転中によくある状況にどんな危険が潜んでいるか予測し、事故を回避する方法を確認します。

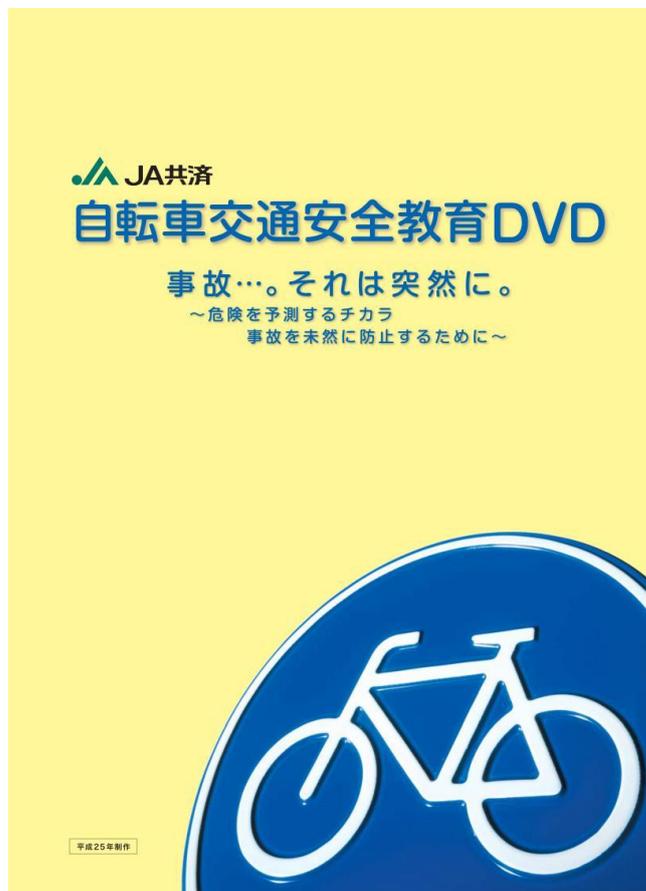
●チャプター8「覚えよう！ 自転車安全利用五則」(6分13秒)

自転車利用の基本ルールとなる「自転車安全利用五則」を学びます。



◆教材の構成

- DVD 1枚
- 教師用活用ガイドA4判 12 ページ(授業用ワークシート、生徒用配布資料)



以 上